

仙台防災未来フォーラムの関連イベント『第17回福住町防火・防災訓練』を開催しました (2019/11/10)

テーマ：コミュニティ防災、福住町、防災訓練、仙台市地域防災リーダーSBL

場所：仙台市宮城野区福住町

2019年11月10日、仙台市宮城野区にある福住町町内会の主催、東北大学災害科学国際研究所の協力のもと、「第17回福住町防火・防災訓練」を仙台防災未来フォーラムの関連イベントの一つとして開催しました。第2回世界防災フォーラムおよび仙台防災未来フォーラムの会場である仙台国際センターから防災訓練会場となる福住町公園まで、約20名の視察者がバスで移動しました。

福住町の防災訓練は、中学校区での学校と地域との合同防災訓練として開催する中で、中学生や小学生は居住している地元地域の防災訓練会場において、仙台市地域防災リーダーSBLなどといっしょになって、防災訓練に参加する形式となっています。地元の仙台市地域防災リーダーが地元の中学生に対して、防災の知識とスキルを教えることで次世代の地域防災人材を育成し、同時に地元地域で活躍する中学生の姿を小学生が見ることで、さらに持続可能な活動につながると考えます。

このような形の防災訓練の開催は、今回が17回目であり、町内会全員参加型の「このまちからは一人の犠牲者も出さない」、「自分たちのまちは自分たちが守る」を合言葉に活動してきたことが認められ、令和元年防災功労者内閣総理大臣表彰を令和元年9月20日に受賞しました。活動しながら次世代を育む福住町町内会の人材育成の取り組みは、コミュニティ防災を持続可能とするためのロールモデルであると考えます。本企画運営には、当研究所の佐藤健 教授（情報管理・社会連携部門）が協力しました。



中学生による物資搬送訓練



中学生による応急救護訓練



防災展示および啓発ブース

文責：佐藤 健（情報管理・社会連携部門）